



11月は4回にわたって「ウェルビーイング（地域幸福度）指標」に関する職員研修を行いました。ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態を指し、私たちの生活の質を向上させる大切な概念です。国では、ウェルビーイングを測定し評価することで、より良い地域づくりを進めようとしています。

この研修の目的は、職員がウェルビーイングについて理解を深めることでした。研修には、全職員の8割にあたる87名が参加しました。研修の始まりでは、8割以上の職員がウェルビーイングについてほとんど知らなかったのですが、研修後には9割以上の職員が「理解が深まった」「ある程度理解が深まった」と回答しました。また、町民の幸福度を高めるためのアイデアも多く出されました。